



朝一小だより

活気あふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel.048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和7年1月8日

児童数 591名



互いに相手を理解しようと努めることの大切さ

校長 金子 二郎

例年より心持ち寒さは厳しいようですが清々しい青空が見られる日が続いています。保護者や地域の皆様におかれましては良い年をお迎えでしょうか。令和7年度も子供たちの健やかな成長のために、そして一小に関わるものすべてがよりよく生きることができるような学校づくりを目指してまいります。引き続き、皆様のご理解ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。今年巳年。蛇は辰と同様水を司り、金運や商売運の干支として人気がある一方、十二支の中で唯一毒を持つため洋の東西を問わず警戒感を持つ人も少なくないようです。人間は毒を持ちませんが、毒を使ったりまた



「毒を吐」いたりもします。どく(毒)ではなくとく(徳)を以て暮らしたいものです。

今年度、一小では「互いの考えを聴き合い、自ら学びを広げる児童の育成」をテーマにより良い授業を行うスキルを身に付けるための研修に取り組んでいます。昨年度までは、児童の思考力や表現力を育むためにはどうすればよいかというテーマ

の下、iPadを私たちも子供たちも鉛筆やノートのような文房具として活用することを目指して取り組んできました。一連の研究を通して多くの成果を得ることができました。その上で感じたことは、表現する力つまり自分の考えを他者に的確に伝えることと同じくらい、相手の思いを正確に理解する力が大切だということです。勿論、誰に対しても過剰に斟酌したり場の空気を読むことに囚われたりすることが生きづらい社会をもたらすおそれがあります。同時に意見が異なるものを否定したりあるいは対立する立場



を排除したりするような社会は、誰も望んでいないと思います。本校ではこの研修において、まず子供たちが聴き合うことのできる場を大切にします。そのために必要に応じ机を四人組の班体形や「コの字」型にしたり、授業者を含め子供たちが話し手に顔を向けるのを待って語り始めたりします。授業者は子供たちを「つなぐ」立場であることを意識し、子供の発言を復唱することもできるだけ避けます。そして45分の間に取り組む一つの課題を明確にし、全員がその解決を通して学力を身に付けることを目指します。

日々の活動の中で感じるのは、誠実に相手の話を聞くには耳を傾ける側に粘り強く理解しようとする力と意志が必要であり、時には自分の思いを主張することほど容易くはないということです。これは小学生だけでなく、大人にとっても同様なことが当てはまるのではと改めて気付きました。当たり前のことですがコミュニケーションは双方向で成り立つものであり、お互いをわかり合う手段として言葉の遣い方を磨くことが求められます。この意味で、私たちも子供たち同じように努力していければと思います。



他人は互いにわかり合えないものです。わかり合えないからこそ、言葉があるのです。(養老 孟司)